

社会科（歴史的分野）学習指導案

指導者 広島市立〇〇中学校

教諭 〇〇 〇〇

1 日時・場所 平成23年12月〇日（〇）

2 学年・学級 第1学年〇組

3 単元名 第3章 中世の日本
第2節「東アジア世界とのかかわりと社会の変動」

4 単元について

○ 教材観

中世の社会は武家政権が誕生し、武士の支配が全国に及び発展していった社会である。平氏政権から鎌倉・室町に政権が移行するとともに、日本は東アジアの国際社会の中で中国や朝鮮だけでなく、琉球や蝦夷にも交易範囲を拡大していった。この交易範囲の拡大にともない、貨幣や木綿が輸入され、生産力の向上をめざす民衆は、未成熟ながら商品の生産だけでなく貨幣を媒体とした流通も発達させた。同時に、これらの発達には都市や農村の自治機能を向上させた。このような社会成長を背景に、質素で力強い武士の気風を表す武家文化は公家文化と融合し、民衆へと広がる中で脈々と引き継がれ、伝統文化として現代社会に継承されているものも多い。

中世の学習を通して、歴史を政治・制度の側面からだけでなく、経済や文化と関連させながら民衆の生活を向上・発展させる視点から生徒に考えさせることのできる教材である。

○ 生徒観

生徒は素直で学習規律も確立しており、日々の学習に意欲的に取り組んでいる。歴史学習を政治的側面からだけでなく経済的・文化的側面からアプローチすることで生き生きとした民衆の歴史として考察することは定着しつつあるが、写真や資料から読み取ったことを比較・関連させて、それぞれの時代の文化がもつ歴史的特徴や時代背景まで考えを深めることは充分ではない。また、学習意欲は高いものの、自分が資料から読み取ったことや、活用して自分の考えを言葉で表現することが十分に身に付いているとはいえない。

○ 指導観

毎時の学習目標を明確に提示し、生徒の興味を引く中心発問を準備する。展開において写真資料を活用し、文書資料との関連から考察し、自分の言葉で表現させたい。また、思考を補助するものとして4人の小グループで話し合わせる手法を取り入れる。グループでは個人で読み取り、考察した内容をすり合わせ、全体での交流の時間を充分にとることで思考を深化させたい。このように、事実の読み取りから関連・比較し分析するという考察の時間を確保し、自分の考えを全体の場で表現することで、一人ひとりの生徒の考えを深化させることを指導の目標としたい。

5 単元目標

- (1) 東アジアの国際関係をモンゴルの襲来，日明貿易等を通して理解させ，そのかわりが中世の日本社会に及ぼした影響を考察させる。
- (2) 武家政治の展開に関連付けて室町時代の新しい文化の特色を理解させ，伝統文化として現在との結びつきに気付かせる。
- (3) 国内の諸産業が発達し，都市や農村に自治的なしくみが生まれるなど，民衆が成長していったことを理解させる。

6 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開，経済発達と社会変化，室町文化に対する関心を高めている。 ・東アジアの国際関係と日本の関係に関心を持ち，意欲的に学習を進めている。 ・室町時代の武家文化と公家文化の融合した文化について関心を持ち調べようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モンゴルの襲来や日明貿易が日本の政治や社会に与えた影響について多角的に考察し，判断している。 ・生産力が向上し，自治的なしくみが発生する社会の変化を既習内容と比較しながら多面的に考察している。 ・表出したさまざまな文化に，武家政治の変動が影響していることを関連付けて考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や資料から武家社会の展開の特徴や民衆の成長を読み取っている。 ・東アジアの国際関係を地図にまとめながら日明貿易を軸として周辺地域との関係を説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい武家社会の変化と守護大名が政治に及ぼした影響とを関連付けて理解し，その知識を身に付けている。 ・国際社会の変化を背景にした日明貿易のしくみについて理解している。 ・基礎的な用語（政策，著作物や人名）を漢字で正しく書いている。

7 単元の指導と評価の計画（全6時間）

時	学 習 内 容	評 価 の 観 点 ・ 規 準 ・ 方 法				評 価 規 準	評価方法
		関	思	資	知		
1 本 時	モンゴルの襲来と日本		◎			・モンゴルの襲来が国内の政治に及ぼした影響を，御家人の動きから考察している。	行動観察 振返りプリント ワークシート
2	南北朝の動乱と 室町幕府		◎		○	・建武の新政から南北朝の動乱に至る経過や，動乱がもたらした武家社会の変化を考察している。 ・新たな権限をもった守護が守護大名となり，のちの政治に影響を及ぼすことに気付いている。	行動観察 振返りプリント ワークシート
3	東アジアとの交流			◎	○	・日明貿易，琉球の国際的役割や蝦夷地の動きなどを地図にまとめている。 ・倭寇の変化と日明貿易のしくみの関係について正しくとらえている。	行動観察 振返りプリント ワークシート
4	産業の発達と 民衆の生活		◎		○	・農業や商業・手工業の発達が当時の社会に及ぼした影響について考察している。 ・村の掟や一揆の碑文の資料から民衆の成長の様子を読み取っている。	行動観察 振返りプリント
5	応仁の乱と戦国大名		○		◎	・中国地方の戦国大名に関心をもち意欲的に学習している。 ・戦国大名が城下に都市を経営したことを経済的な側面から理解している。	行動観察 振返りプリント ワークシート
6	室町文化とその広がり		○		◎	・伝統文化に関心をもち，現代に受け継がれているものに気付いている。 ・武家文化と公家文化の融合する室町時代の文化の特色をとらえている。	行動観察 振返りプリント

8 本時（1／6）の目標

- ・モンゴルの襲来が国内の政治に及ぼした影響を，御家人の立場で根拠を提示しながら考察している。

9 本時の指導過程と評価

学 習 活 動	教 師 の 指 導・支 援	評価規準・評価方法
<p><導入3分></p> <p>(1)本時の目標を知る。</p>	<p>○ モンゴルの襲来は日本にどのような影響を与えたかを考える。（つづき）</p>	
<p><展開1 10分></p> <p style="text-align: center;">竹崎季長は元寇をどう語るか考える。</p> <p>(2)竹崎季長がこの元寇をどのように捉えていたか資料から読み取り考えてきたこと（宿題）を交流する。</p>	<p>○ 全体で出た意見を板書しながら整理する。</p> <p style="text-align: center;">竹崎季長は元寇で戦った一人の武士なのに、なぜ恩賞奉行に面会しようと鎌倉まで行ったのか。</p> <p>・「先がけ」で戦功をあげたにもかかわらず、恩賞がもらえなかったから、領地を与えてもらうため。</p> <p>○ 一御家人の領地獲得の要求行動から，封建制が土地を媒介として結ばれた主従関係であることを再考させ，展開2につなぐ。</p>	
<p><展開2 35分></p> <p style="text-align: center;">元寇によって御家人たちは鎌倉幕府に対してどんな気持ちをもったか。</p> <p>(3)モンゴルの襲来後，御家人たちは幕府に対してどのような気持ちをもつようになったか資料を根拠に予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領地（恩賞）を得られない御家人→生活の困窮 ・分割相続により所領の減少 	<p>○ プリントとグループにまとめの用紙を配布する。</p> <p>○ 小グループで資料から分かることを抽出させ，2つの資料を関連付けて結論先行で書かせる。（集団思考）</p> <p>○ 机間指導を行い，話し合いに参加するよう支援する。</p>	

<p>→生活の困窮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・永仁の徳政令 ・北条氏の守護数 ・悪党の登場 <p>(4)自分の考えを根拠を提示しながら発表する。</p> <p>(根拠が十分に出ないとき)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・土地をもらえなかったら、戦う意味がない。 ・大きな費用を出して戦ったのに、領地をもらえなかったから幕府に不満を持った。 ・土地をもらえず、小さくなり不安な気持ちをもった。 	
<p>なぜ、御家人たちが不満や不安を持ったのか。</p>		
<p>※再度根拠となる資料にもどる。</p> <p>(5)まとめとして個人でワークシートに自分の考えをまとめ、記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の意見をつなぎ、理解が深まるように関連付けながら整理していく。 ○ 生徒全体に配慮し、思考をつなぐように支援する。 ○ 資料から根拠を2つ以上あげて御家人の気持ちを書くよう指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ モンゴルの襲来が国内の政治に及ぼした影響を御家人の立場で根拠を提示しながら考察することができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>★ 恩賞をもらえなかった理由を2つ以上関連付けて、御家人が幕府に不満をもつようになったことを述べている。</p>
<p><まとめ 2分></p> <p>(6)まとめと宿題の提示</p> <p>(7)次時の予告</p> <p>(8)振返りプリントの記入</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎用語ドリルの次回のNo.を確認する。 	